

成田市インターネット市政モニター アンケート集計・分析結果（第13回）

第13回のテーマは「災害時の避難行動等に関するアンケート」でした。

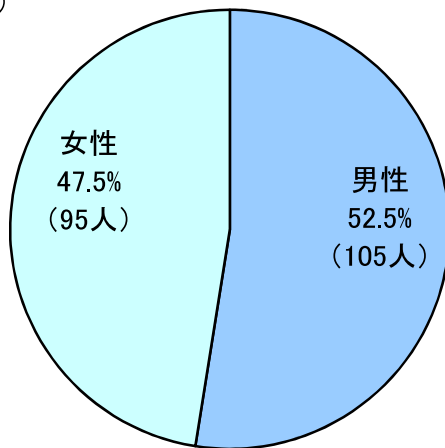
登録者数：285人

実施期間：平成27年1月7日(水)～1月16日(金)

回答者数(回答率)：200人(70.2%)

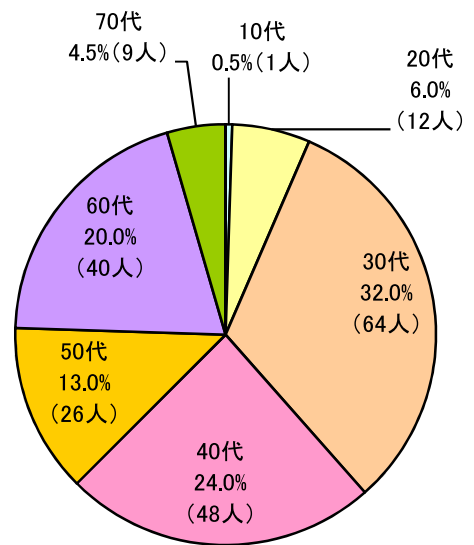
性別

(n=200)



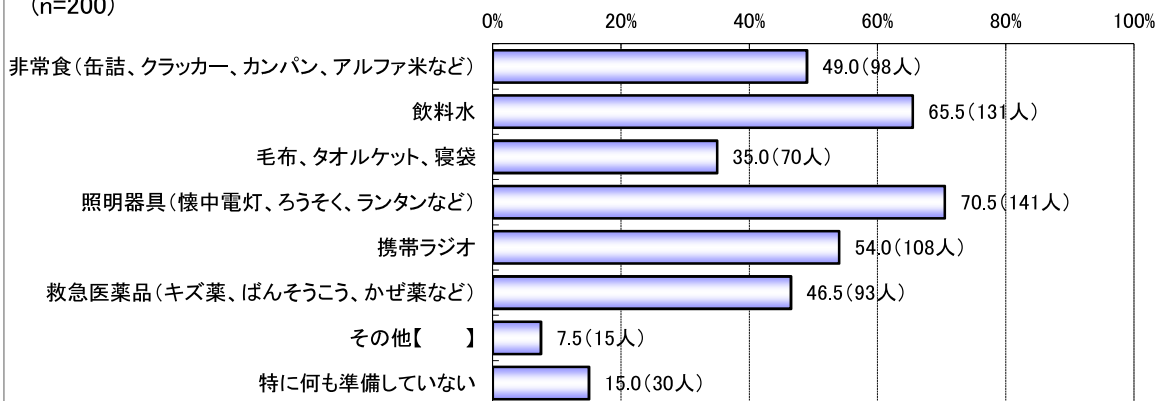
年代

(n=200)



[Q1]災害に備えてもしものときのために家庭で、水・食料品や生活用品などの備蓄、準備しているものをすべて選択してください。(複数選択)

(n=200)



○「照明器具」が70.5%と最も高く、「飲料水」65.5%、「携帯ラジオ」54%と50%を超えていることがわかりました。また、「特に何も準備していない」と回答した方は15%と低いことが伺えます。

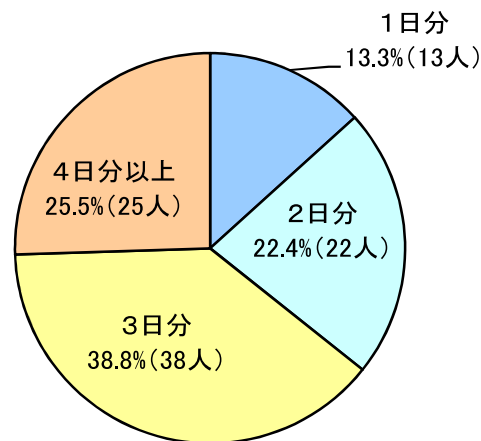
・「その他」として寄せられた意見は次のとおりです。

生理用品、オムツ/簡易トイレ/歯みがき 石鹸 シート/スマホ、携帯用モバイルバッテリー/トイレトペーパー/カセットコンロ/暖房器具/ホイッスル/着替え、紙皿、紙コップ/スリッパ

非常食を備蓄している人にお伺いします。

[Q2]あなたの家庭では、何日分の非常食を備蓄していますか。(単一選択)

(n=98)



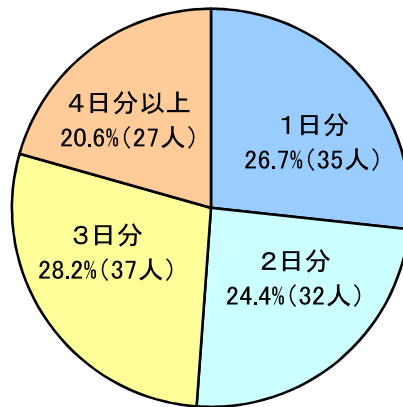
○非常食を備蓄している人のうち、「3日分」が38.8%、「4日分」以上が25.5%と3日分以上の備蓄を用意している人が64.3%と高いことが伺えます。

飲料水を備蓄している人にお伺いします。

[Q3]あなたの家庭では、何日分の飲料水を備蓄していますか。(単一選択)

(1人当たり1日3ℓの水が必要です。4人家族の場合は12ℓで1日分となります。)

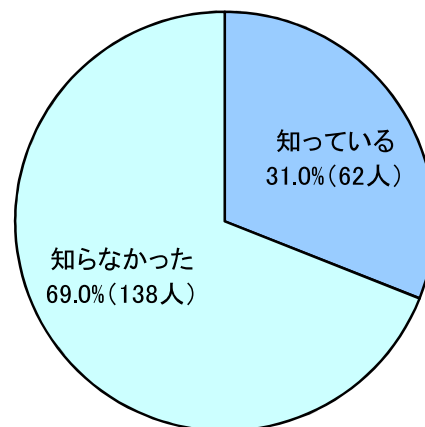
(n=131)



○「3日分」が28.2%と最も高い結果となりました。市では最低3日分以上の備蓄をお願いしているので、2日分、1日分と回答した人にも3日分以上備蓄してもらえるように広報していきたいと考えます。

[Q4]避難場所と避難所の違いを知っていましたか。(単一選択)

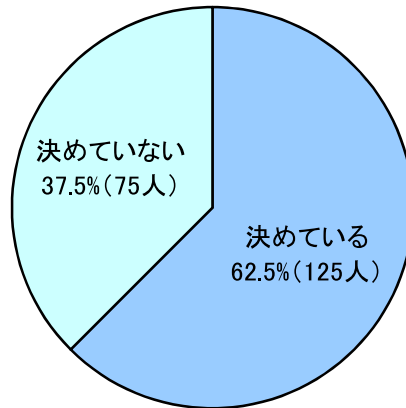
(n=200)



○69%の方が避難場所と避難所の違いを知らないということがわかりました。今後、避難場所と避難所の違いを知ってもらえるよう啓発活動に力をいれていきたいと考えます。

[Q5]災害が起きたとき、自宅から避難する避難場所を決めていますか。(単一選択)

(n=200)

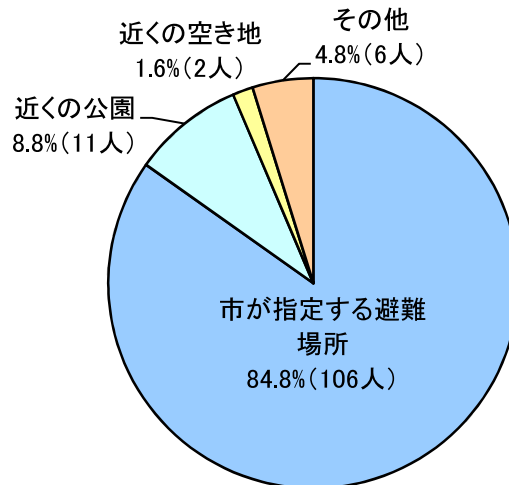


○「決めている」と回答した方が62.5%と高い結果となりましたが、「決めていない」と回答した方が37.5%と4割近くいます。防災講話等を通じて事前に避難場所を決めてもらえるように啓発していきたいと考えます。

避難場所を決めている人にお伺いします。

[Q6]どの場所を避難場所として決めていきますか。(単一選択)

(n=125)

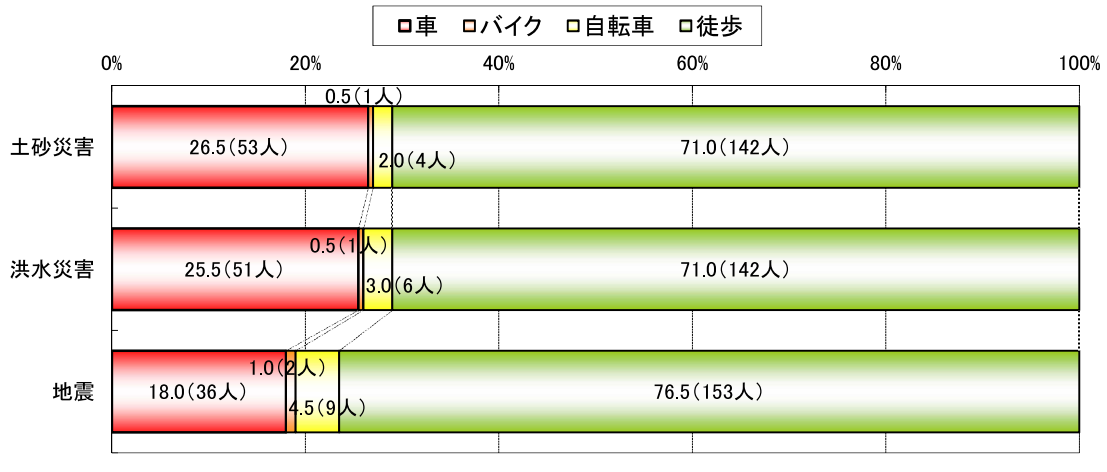


○避難場所を事前に決めている方のうち、84.8%の方が「市が指定する避難場所」を避難場所として決めていることが伺えます。

・「その他」として寄せられた意見は次のとおりです。

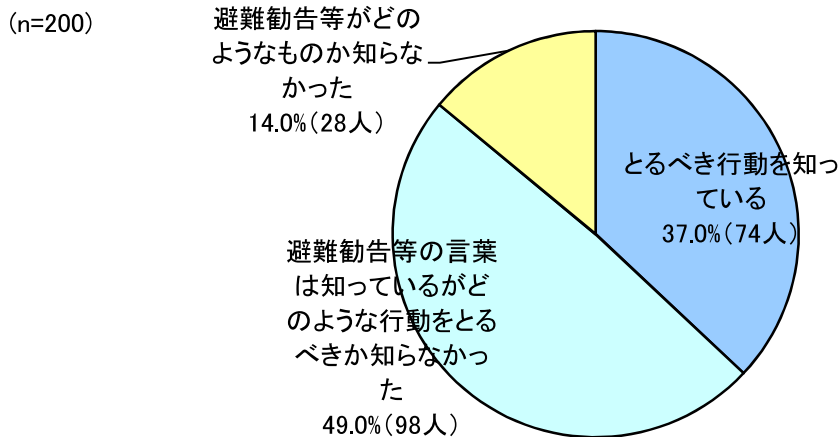
職場/町内会集会所/近くのスーパー駐車場

[Q7]災害が発生した場合、あなたはどのような手段で避難しますか。



○災害別の避難手段として、「土砂災害」、「洪水災害」、「地震」ともに7割以上の方が、徒歩で避難すると回答していることが伺えます。

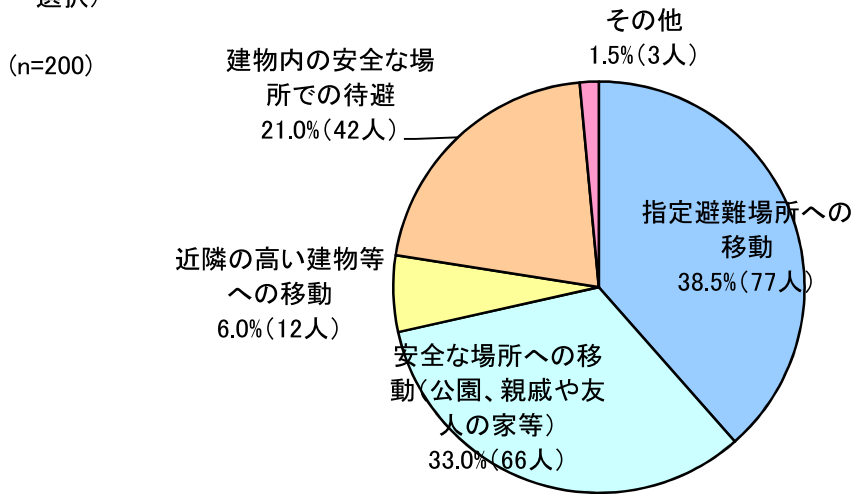
[Q8]市から避難勧告等(避難準備情報、避難勧告、避難指示)が発令された場合、あなたがとるべき行動を知っていましたか。(単一選択)



○「避難勧告等の言葉は知っているがどのような行動をとるべきか知らなかった」49%、「避難勧告等がどのようなものか知らなかった」14%を合わせると6割の方が、とるべき行動を知らないということがわかりました。今後、防災講話等を通じて避難勧告等の重要性を啓発していきたいと考えます。

地震についてお伺いします。

[Q9]災害の危険性があるときにあなたがとる避難行動は次のうちどれですか。(単一選択)



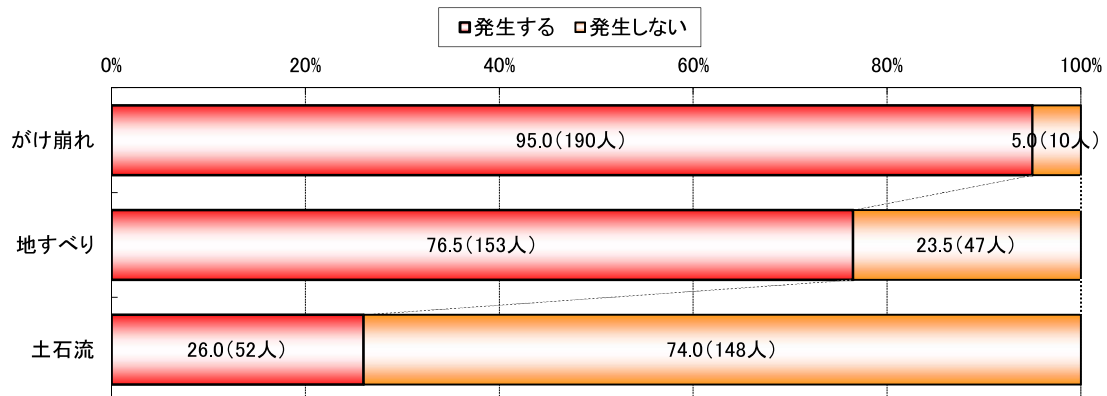
○「指定避難場所への移動」38.5%、「安全な場所への移動(公園、親戚や友人の家等)」33%を合わせると、7割を超える方が地震の際の避難行動をして立ち退き避難を選択することがわかりました。

・「その他」として寄せられた意見は次のとおりです。

自宅での待機/避難に備えて持物等を確認と身支度を整える

土砂災害についてお伺いします。

[Q10]土砂災害は、大きく分けて「がけ崩れ」「地すべり」「土石流」の3種類があります。成田市内ではどの種類の災害が発生する可能性がありますか。

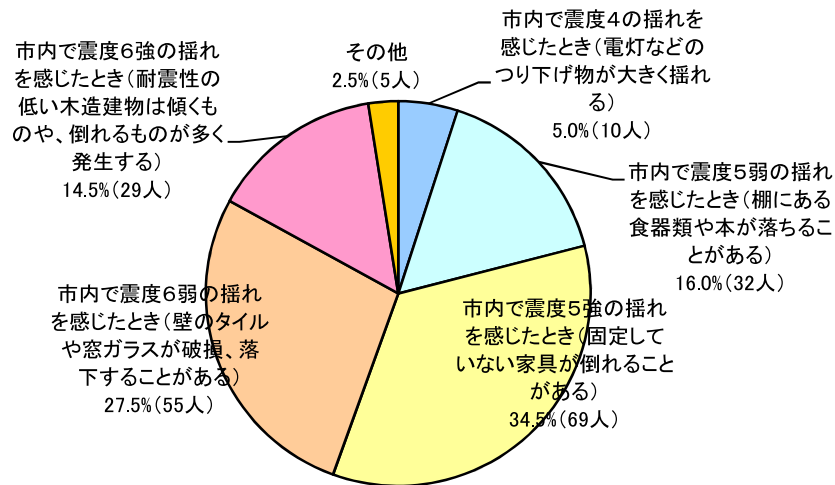


○95%の方が市内で「がけ崩れ」が発生すると思っており、75%の方が「地すべり」が発生すると思っていることがわかりました。今後、防災講話等を通じて成田市で発生する土砂災害の危険性について広報していきたいと考えます。

地震についてお伺いします。

[Q11]市が避難所を開設する基準は、次のうちどれが適当だと思いますか。(単一選択)

(n=200)



○「震度5強の揺れを感じたとき」34.5%、「震度6弱の揺れを感じたとき」が27.5%と回答しています。今後の避難所運営の参考にしたいと考えます。

・「その他」として寄せられた意見は次のとおりです。

必要に応じて/震度で決めるものではない/余震が長く続いているとき/震度に関係なく家屋被害が発生した場合/地震が、起きたときの天候にもよると思う

[Q12]災害時の避難行動等についてのご意見・ご要望をお書きください(自由記述)

- ・災害時の避難行動については家族では話し合うことはあるが、実際に市の方からもっと具体的に避難場所や災害時の避難行動について広める必要があると思う。
- ・我が家では、災害時はここで集合しようとしています。また、命に関わるものが起きたら、家族のことより、自分のことを第一に考えて行動するように決めています。
- ・簡単な内容でも構わないので、時間間隔をあまりあけず、災害情報を教えてほしいです。
- ・情報がよく流れるように、情報が容易に入手できるように、家族への連絡が容易にできるような環境を整えてほしい。
- ・公津の杜地区に住んでいるが、住民が多いのに対し、避難場所が公津の杜小・公津の杜中しかなく、いざという時に避難の受け入れが出来るのか不安。
- ・一般人には避難の判断が難しいと思う。
- ・防災無線が聞こえないとの意見が多い。自分は防災メールを利用できるが利用できない人も多いと思います。高齢者独居の方も多いので対策が必要と思います。
- ・私の地区は 避難が発生するようなことがないと考えている。
- ・福祉会館、公民館、学校の屋根に太陽光発電をつけてはどうですか。

- ・避難所、避難場所に何が常備してあるのかが分からない。住所ごとに周りの状況は違うはずなので、自治会や班？単位での行動計画を早急に立てる必要があるのではないのでしょうか。
- ・URの団地に住んでいますが、避難訓練はもちろん、避難に関する掲示なども目にすることがありません。年配の方も多く住んでおられるようなので、何かあったときにはどうなるのだろうと不安に思っています。市とURと共同で、何か良い対策を立てることはできないのでしょうか。
- ・成田市内では、避難場所への移動距離がそれほど長くないと思われるので、避難行動での自動車の利用制限を是非導入していただきたい。しかし考えたくもないが、東海原発などの大規模災害に襲われたときは車どころか、成田空港から出国したい！
- ・市内でも地域によって、災害時の影響が違うので、自治会での行動が必要と思う。
- ・災害時の時間にも依るが豪雨で夜中に避難指示が出された場合、留まるべきか避難すべきかやはり迷う気がする。前回の大地震の時自分の家は被害がないのに避難所に行くという人が大勢いたのには正直驚いた。避難所はどんな人たちが行くのかはっきりと文章にして広報で知らせる必要があると思う。
- ・よくわからないし、実際起きたら読んだことも真っ白になるので、放送などで知らせてくれたら助かります。
- ・乳幼児、幼児が快適に避難していただける環境を思案していただきたい。
- ・自宅は地理的に水害や土砂くずれなどの発生はないと信じています。しかし地震や竜巻には、何時巻き込まれるか心配です。家族で避難場所の確認はしています。
- ・まず、身の安全を確保して、次の行動に移れるようにすることを常日頃に周知しておくことが必要かと思います。
- ・既定の避難場所及び避難通路が有効かどうかの確認方法。
- ・犬を飼っているのですが、連れては避難所に入れません。万一、自宅から逃げる場合は、避難場所付近に停めた車で過ごそうと考えています。ペットがいる場合、どう行動すれば良いか教えて頂きたいと思います。近所の避難場所の小学校は自宅より低い場所に建っていて、校庭は液状化の心配もあるので、そこにとどまるのは不安を感じます。避難場所は、本当に安全なのでしょう？自己責任で無理をして自宅で過ごすのは、迷惑になるのでしょうか？迷ってしまいます。
- ・避難場所等をもっとわかりやすく表示等してほしい。
- ・自宅周辺は、常に路上駐車車両で溢れかえっている。道路を自宅駐車場代わりにしているモラルの低い人たちが、災害時に平穩に行動するとは思えず不安である。国道51号線とイオン周辺道路が封鎖されてしまったら、逃げることもできないなという感じがする。
- ・1歳の息子がいるので色々不安ではあるのですが実際どうして良いのかわからず、何の準備もできていません。幼い子のいる家庭向けに何か講演や実習など、企画していただくと安心です。
- ・土砂崩れ等の起きやすい道路等の調査分析が不十分である。国土交通省や県に問い合せても的確な回答が得られない。専門家の採用育成が必須である。市にも現在いるとは思っていない。これは専門官との面談からの判定である。
- ・避難所への速やかな人材派遣。
- ・家族でもう一度災害時についての話をした方がいいと思いました。
- ・市政の活動に期待している。
- ・防災無線を活用する。
- ・高齢者と障害者がいるので、自宅で避難。家が壊れたらテントや車にいる。食料と水を避難所へ取りに行けたらいく。
- ・引っ越してきて1年近くになりますが、災害時のことは全く考えられてなかったです。これから対応を考えたいと思います。

・災害時の避難行動やその知識などは、平日頃からその情報に接していないと、いざという時に混乱してしまうと思います。そのようにならないためにも、普段からの情報発信(学校での教育や HP 等での情報発信など)は非常に重要だと思えます。

・東日本大震災や大雨などで、住んでいる場所・建物で避難行動は変わってくると思えました。それをもとに防災訓練をすることが大事かと思っています。

・視覚障害者の避難時の誘導などお願い致します。

・正確な情報は、常に伝える、伝える、などの、成田市においても、防災無線が、はたして、どこにいても聞こえるか？また、お年寄りや耳の不自由な方には、どのように伝えるのか？調査してほしい。

・独居高齢者について具体的な避難補助などは、公的にはどうなっているのだろうか。

・実際に地区の避難所？がどこであるかを把握していなかったり、もし小学校だとしても、距離がかなり離れているので、行くまでの手段が無い人などの対策はどんな感じなのかな？と思う。

・住まいがあまり災害と無縁な箇所なのであまり関心がなかった。平坦で川等もないので。ただ、成田湯川駅前の道路は2年前の豪雨の影響で土砂崩れにより甚大な被害があったにもかかわらず、何も手付かずだというのが納得いかない。

・田舎は、どこに避難すればいいのか…畑ばかりなんですけど…

・避難準備情報等の伝達手段を充実して欲しい。指定避難所までの経路に危険な場所が有り、自宅の方が安全な場合が多いと考えている。その場合、状況を適時・正確に把握する事が寛容と考えます。有線放送は殆ど聞こえず、市の HP は PC が使えない状況を想定する必要が有る。そこで携帯電話への地域メール等、技術の進歩をいち早く取り入れて可能な限り多くの伝達手段を整備して欲しい。

・いざというときに、どこにいても冷静に行動できるよう、自分自身で、また家族できちんと見直し確認しておきたいと思っています。

・共働きで小学生の息子がいるので、とにかく向かえる方が息子を迎えに行く、としています、色々不安です。

・成田市は空港関係者など、仕事の関係で県外から成田に住んでいる方が多いと思います。私もそうですが仕事と家の往復ばかりですので、避難場所に関しては学校や公園の名称を聞いても、正直なところ場所も分かりません。知っておかなければいけないのですがなかなか把握できていないのが現状です。このアンケートをきっかけに知ろうと思いました。

・まずは落ち着いて。災害の様子、道路の様子をうかがいながら避難しよう。家を出るときは、カギをかける。

・防災無線がときどき放送されますが、よく聞き取れません。いざという時、役にたつのか疑問です。

・防災無線が風向きによって聞こえない事が度々あるので、何か良い方法を考えてほしい。

・具体的に避難のための具体的携帯品の指導を願います。

・家族と連絡が取れる窓口があるか知りたい。

・慌てず冷静に行動する、情報交換し適格な行動をする。

・時間が経つと、どうしても薄れてしまう災害意識ですが、こうしてアンケートをして頂くだけでも、意識が違います。

・大抵の人は自分の周りでは災害は人事、と思っているような気がする。市には土砂崩れなどのリスクがある地域が存在しているので、災害発生時に取るべき行動を分かりやすい形でインフォームする必要があると思う。

・整備された市街地は全く問題がないと思うので、山間部など災害の危険性が高いところを重点的にケアしてほしい。

・一人じゃなく、近所声かけあって行動するのが心強いと思う。普段から話し合っておくことも大切かも知れない。

- ・防災無線が聴き取り難く改善が必要と思います。成田は内陸部に位置するため津波の心配は在りませんが大規模地震の際に道路やインフラ損傷・商業店舗休業により生活難民にならないか心配です。救援物資の備蓄やインフラの耐震強化対策をとってほしいと思います。
- ・災害無線(メールシステム含む)が一番の情報源ですので、現状の維持・管理をしっかりとっていただきたいです。
- ・市でも避難訓練を実施してほしいです。
- ・マニュアルを作成して配布してほしい。
- ・避難先での食べ物、飲料水、寝具他、どのようなものがありますか？自分たちで用意するものとかぶらないためにも知りたいです。
- ・高台に住居があるため、市のアナウンスが聞き取りにくいことがあります。はっきり聞こえるようにしてほしい。
- ・公津の杜に住んでいます。マンションが多く人口も多いので避難場所が足りているのか。避難所を利用できるのか、なるべく自力でということになるのか。誰に聞いたらいいのかもわからず、心の準備ができません。詳しく知りたいと思います。
- ・災害時は、市の防災無線をアクセスポイントとしてWi-fiが無料でつながるようにしてほしい。
- ・13階建ての集合住宅に居住していて、洪水や土砂災害の恐れは全くない。東日本大震災以上の大型地震での被災が唯一の心配ごとであるが、まだ現実的な心配事に感じられていない。
- ・適切な情報が得られるに越したことはないのですが、普段の生活の中で、危険から回避する方法等、家族で話し合っておくことが基本であると思います。
- ・災害が、起きたときにどこにいるかで、対応が変わってくるので、個人でも、いろいろと想定しないといけないですね。
- ・災害避難準備勧告、避難場所、避難警告、何だか、言葉が紛らわしいので、避難警告、1、2、3 みたいな簡略化した警報にできないものか。
- ・現地人だけが対象で、賃貸などの人は、回覧板すら回らず、わからないと思う。避難者の多くは、地元以外の人である可能性。ショッピングセンターや参拝客も含めると、大変な数。避難後の対応も考えておく必要がある。
- ・自分の住んでいるところが高台な上に成田市は滅多に大雨は降らないから避難するといえば地震の事しか頭になかったけど土砂災害についてもこれからは頭に入れておこうと思います。
- ・昨年の台風でがけくずれがおこったところがかなりあるので私宅も斜面にあるのでとても心配です。
- ・富里市日吉台に隣接した地域に住んでいますが、放送が聞こえづらく、市の誘導が発表されても分かりづらい状況です。合併などで成田市は広がっていますし、インフラ整備の一環として整備の強化をお願いしたいです。
- ・共助できる体制を日頃から構築することが大切であると考えます。そのための組織作り等の市のコーディネートが必要なのではないのでしょうか。
- ・冬の夜間の場合は避難のしようがないのでは。
- ・車を使わないことを徹底し、持参物は最小限度の物品と貴重品としないと、避難施設等において混雑を呈する。そのためには、行政側も食料・寝具・衣服等の準備ができるか、ペットの預かりも重要。
- ・災害で電話回線が使えなくなった時の事を考えて、他の方法で各避難所と行政が連絡を取れるように電話以外の通信手段を確保しておいたのが良いと思う。
- ・避難指示が出たら、身の回りのものを持って避難場所に行く。くらいしか考えていませんでした。本当に指示が出たらどうするのが良いのか、改めて知りたいと思いました。
- ・防災無線がハウリング(エコー?)して放送内容が分からない。

- ・集合住宅なので、自宅に留まった方が良いのか、階段を使い外へと避難した方が良いのかの判断が震災時に出来なかったので、具体的なアドバイスが聞いてみたい。
- ・広報なりたで災害時の避難行動指針について、特集記事を作って欲しい。
- ・災害時の避難については、知識として知っていても行動が伴うかどうかは別であると思う。知っている、分かっていることが実際の行動に結び付くようにするには、訓練により身につけるしかないと考える。
- ・市のホームページに載っている崖崩れのハザードマップみづらいです。もう少し分かりやすい地図にしてほしいです。
- ・日頃より家族で話し合っていることを実行する。
- ・それぞれの災害時の避難行動のマニュアルを市民に配布してほしい。

～まとめ～

○災害時の避難行動等に関するアンケートにお答えいただきましてありがとうございました。災害に対する備えとして、水、食料品や生活用品など何かしら備蓄している人が 7 割を超えており、災害に対する備えを各家庭で準備していることがわかりました。

災害による被害をできるだけ少なくするためには、一人一人が自ら取り組む「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む「共助」が重要だと言われています。防災対策には、十分とか絶対大丈夫というものはありません。一人一人が、自分の周りにどのような災害の危険が及ぶのかを考え、その被害をできるだけ少なくするために必要な対策を講じることが重要です。

今回いただいたアンケート結果やご意見は、今後行う市が発信する防災啓発や防災講話、減災等に役立てていきたいと思えます。

成田市インターネット市政モニターの皆さん、アンケートにお答えいただきましてありがとうございました。皆さんのご意見は、今後の市政運営の参考にさせていただきます。

今後とも、成田市インターネット市政モニターへのご協力をお願いします。